

- 障害者のスポーツ・レクリエーション活動の振興と社会参加の促進を図るために設置された施設であり、年間約38万人（平成27年度）の方に利用されています。

▶ 平成27年度財務諸表

○ 貸借対照表

資産 65.5億円	負債 1.9億円
固定資産 〔うち土地 47.9億円 うち建物 17.1億円〕	都債 1.9億円
	正味財産 63.6億円

○ 行政コスト計算書

行政収支の部

行政収入 0.1億円
〔うち使用料及手数料 0.1億円〕

行政費用 8.1億円
〔うち人件費 3.1億円 うち物件費 4.0億円 うち減価償却費 0.9億円〕

資産分析 → 建物老朽化率：67.1%

単位当たり分析 → 費用：2,166円/利用者

- ✓ 建物老朽化率は、都の建物平均（47.8%）を上回っています。
- ✓ 開設当初と比べて利用者ニーズが多様化しており、それらへ対応するためにも、引き続き、計画通り改修を進めていくことが求められます。

- ✓ 改修工事に係る行政費用の増などにより、利用者1人当たりのコストは平成26年度に比べ40円の増となりました。
- ✓ 今後も、利用者へのサービス向上とともに、効率的な運営が求められます。

▶ 対応

- 障害者スポーツセンター改修工事 40.0億円
 - ✓ 改修工事を着実に進め、コスト面への影響も注視しながら、**施設の老朽化に対応**していきます。
 - ✓ 改修に当たっては、障害者スポーツの競技力向上に向けて機能を充実させるなど、**多様化するニーズに対応**していきます。

